

受講

無料

格差問題への福祉実践からのアプローチ

～支援・サービスギャップへの挑戦～

Tohoku Fukushi University

54回

実学臨床研究

セミナー

※ 本学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻の授業科目としても開講されています

■ 開催日時 2026年2月12日(木) 18:30 - 20:00

■ 受講方法 Zoomオンライン開催 ※ Zoom情報は開催2日前より送付します

■ 申込方法 Web専用サイト(Peatix)より登録 <https://jitsugaku-seminar25.peatix.com/view>

2月12日(木)12時まで にお申込み下さい



希望する在宅生活を 継続するための訪問看護サービス

■ テーマ趣旨

少子超高齢化・多死時代を迎え、在宅での看取りや孤立死が増加している。ひたすら生かす医療、命を終えるための医療への転換や、終末期から人生の物語の最終章への転換と謳われる現代であり、在宅医療・在宅生活を支える訪問看護師の存在は欠かせない。今回は、訪問看護師や訪問看護ステーションの現状や傾向を紹介する。宮城県内と仙台市の訪問看護ステーションにおいて生じている格差やその要因から、地域で病気を持ちながらも障がいがあっても年老いても、暮らしていくための繋がりや協働を考えてみたい。

■ キーワード

在宅生活 地域格差 在宅看護

■ 講師紹介

菅原 千恵子 (すがわら・ちえこ)

東北福祉大学健康科学部准教授（在宅看護）、介護支援専門員、日本看護学教育学会員、日本在宅ケア学会員、日本臨床死生学会員、日本訪問看護振興財団会員

在宅看護の大切さや家族看護の重要性、多職種連携・協働の必要性を説き、次世代の在宅看護に携わる人材育成に努めている。

■ 福祉実践・実践研究への手がかり

在宅生活を支える訪問看護師の需要はますます増大するが、訪問看護ステーション・訪問看護師は不足している。在宅看護の現状や実践例の中から、在宅で生じている「格差」の問題を認識し、現状理解と多職種連携・協働により、有効な支援を検討したい。

■ 企画 T FU実学臨床研究セミナー実行委員会



【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局

(実習支援センター 実学臨床教育推進室内)

TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293

E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp

※平日8:30~17:30(土日・祝日不在)

次回(55回)のお知らせ

日 時 3月7日(土) 13:30-15:30

20260106